

# いわて平泉米だより

令和3年8月号

## おいしいお米作りのために 最後まで手を抜かず、しっかり 管理しましょう

本年は平年と比較し好天が続いたことから、3～5日程度生育が進んでいる状況です。

ここ数年、シラタ米（白未熟粒）の発生やカメムシ被害が発生しています。今後の気象状況と生育状況を考慮しながら、適期防除に努めましょう。

### シラタ米（白未熟粒）発生軽減対策

- ・ 稲体の体力を落とさないように夜間入水をしましょう。
- ・ もみの登熟を悪くする早期落水をしないようにしましょう。

湿田は出穂から30日以降の落水

乾田は出穂から35日以降の落水

### カメムシ被害軽減対策

- ・ 防除時期までに畦畔草の草刈りが済んでいない場合は、防除後7日以内に草刈りを実施しましょう。

### 適期刈り取り

- ・ 近年、夏場の高温により例年と比較し登熟が速くなっております。穂の黄化割合を観察し適期を逃さずに刈り取りましょう。
- ・ コンバインや乾燥機は8月中に点検修理を実施し、9月10日過ぎにはいつでも刈り取り作業ができるよう準備しましょう。